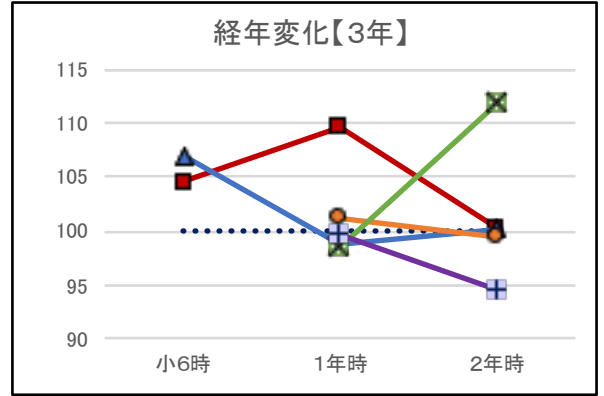
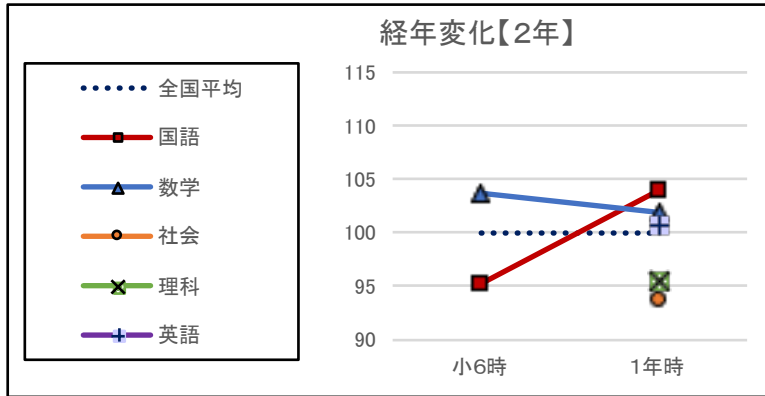


## I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

### ① 標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）

※釧路市では、1～2年生を対象に国語と数学で標準学力検査を実施していますが、本校では、独自に社理英においても実施しています。



### ② 学校の状況

<R7\_12月標準学力検査「質問紙」回答結果より>

- 「活用」で多くの教科が全国と同等かそれ以上だった。
- 「友達から認められていると思う」「家の人から認められていると思う」「先生から認められていると思う」はどれも全国値よりも高い。
- 「自分にはよいところがある」「自分のことが好き」はどちらも全国値より高い。
- ▲「平日、学校の授業以外での学習時間が1時間以上」と回答した割合が全国値よりも低く、3学年では「ほとんどしない」と回答した割合が3割超。
- ▲「勉強にパソコンを利用している」の回答の割合は全国値より大幅に高いが「勉強に辞書を利用している」は全国値を大きく下回る。
- ▲「朝食は家の人と一緒に食べている」と回答した割合は4割弱で、とくに学力検査の正答率が低い層ほど一緒に食べていない回答が多かった。
- \*「参考書や問題集を使って勉強している」の質問について、学力検査の正答率の高い生徒の層ほど、肯定的な回答が多い。

## II 今年度の学力向上に係る重点取組

### ① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各教科の授業において、単元の中で意図的・計画的に学び合いの場面の設定し、協働的な学びにより、深い学びを目指す。</li> <li>・ 「釧路市の目指す授業」をもとに、課題・見通し・個別思考/集団思考・まとめ・振り返りの授業展開をつくる。課題を生徒と一緒に設定し、生徒の言葉でまとめや振り返りを行う。</li> <li>・ 研修部が主体となり、学年で「目指す生徒の姿」において下位層を巻き込む手立てを設定し、課題の共通理解や実践交流をする。</li> <li>・ 国語科だけでなくすべての教科において、「書くこと」「読むこと」に関する重点を設定して実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全・安心な居場所づくりや共感的な人間関係を育成し、協働的な学びの基盤をつくるために、学級・学年の思いや方針を積極的に発信し、共有する。</li> <li>・ Q-U、アセスなどの各種アンケートやデータを有効活用する。情報は、学年団や教科担任と共有し、生徒理解に努め、継続的・横断的な指導に努める。</li> <li>・ 校区で設定した「目指す大人像」の具現化に向けて、9年間の系統的な指導となるよう、今年度はとくに「探究学習」の現状を共有し、校区としての「探究学習」の構築を目指す。</li> <li>・ 学級経営や各教科の授業において、自己決定の場を設定し、自ら考え、選択し、決定する力を育む。特に、学級では特活、道徳、学校行事で意図的・計画的に設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示物の精選や配置の工夫、黒板の使い方など、通常学級においても特別支援教育の視点をもった教室環境づくりを行う。</li> <li>・ 個別学習スペースのステップアップルームを有効活用し、様々な生徒の実態にあわせた学習保障を行う。担当者を中心に、学級担任、教科担任、SC等の連携を図る。</li> <li>・ 教務部が中心となり、教科や学年と連携して、「授業⇔放課後サポートルーム⇔家庭学習」となるような具体的な取組を目指す。</li> <li>・ ふるさとキャリア教育における探究学習をより充実させ、学ぶことの意義の理解、社会参画意識の向上を目指す。</li> </ul>

## ② 各教科での指導の重点

国語科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・教科書以外の文章（例えば新聞とか）を読む機会を設定し、語彙力を高める。</li><li>・型を提示して文を書かせる実践を重ねる。</li><li>・要約や要点をまとめる活動を多く設定する。</li></ul>
数学科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・問題文を読む際に数量同士の関係や状況整理をして、立式したり図を書いたりすることを通して、読解力の向上を目指す。</li><li>・多様な考え方でできる問題でも自分の考えを持ち、ペアや集団思考など指導方法を工夫していく。</li><li>・他の生徒の考えを読み取ったり別の生徒が説明したりする場面を設定し、ペアワークやグループ学習などを効果的に設定する。</li></ul>
社会科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・年間指導計画において「書くこと」を重点とする単元を決めて、実践する。</li><li>・教科書やコラムなどの文献史料を読み、「読むこと」から思考力の向上を目指す。</li><li>・グラフや資料の読み取りをする活動を通して「読み取る力」を育成する。</li></ul>
理科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・実験結果からの考察の充実を目指し、レポートでの思考力・表現力の育成を図る。</li><li>・単元の中で、習熟度に応じた問題に取り組み、基礎・基本の確実な定着を図る。</li><li>・小集団での話し合い活動を通して、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</li></ul>
英語科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・基本的な語句や基本文を用いた文の書き取り活動を断続的に設定し、定着を図る。</li><li>・教科書本文の読み取りの時間を確保し、場面の把握や筆者（話者）の意図の読み取り、要点整理に取り組みさせる。</li><li>・英語でやり取りする場面が増えるように、ALT・先生と生徒のやり取りをする場面の設定を増やす。</li></ul>
音楽科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・よりよい表現を求めて主体的に課題に向かえる集団づくりを目指す。</li><li>・次時の見通しを持ち、前時を活かして学習に臨むことができる振り返りシートの工夫と活用をする。</li><li>・歌詞から背景や思いを読み取り、表現の工夫に活かす指導となるよう工夫する。</li></ul>
美術科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・ICT等を活用し、他者の構想や振り返りシートを共有することで多様な表現に触れられるよう指導を工夫する。</li><li>・工程ごとに交流タイムを取り入れ、他者の作品制作から学び合うことができる集団を目指す。</li><li>・構想・振り返りだけでなく途中経過も「書く」活動を設ける。</li></ul>
保健体育科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・生徒の実態に合った学習課題、一時間で達成できる目標を立て、指導と評価の一体化を図り、振り返りの充実につなげる。</li><li>・自身の動作撮影で経年変化を感じられるよう、1年生から3年生までの内容を保存できるシートを作成し、学びのつながりを持たせる。</li><li>・単元計画の見直しで、教科担任間の差異をうめる。評価の基準等を生徒に共有できるようにする。</li></ul>
技術・家庭科の重点
<ul style="list-style-type: none"><li>・課題解決に向け、主体的に活動する場面（製作学習）の設定や、生活体験を基盤とした学習過程の明確化を行う。</li><li>・次時の学習に繋がられるような振り返りシートの見直し作成を行い、「書く」活動を充実させる。</li><li>・説明書を読み取り、計画表（自分の能力にあわせた）を作成し、製作の見通しを持てるようにする。</li></ul>